
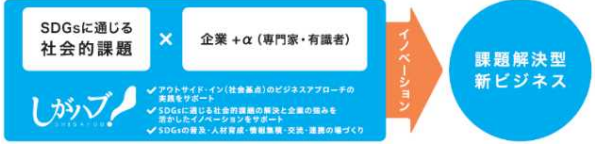


滋賀の社会的課題の解決につながるSDGsの理念を踏まえた新ビジネスモデルの創出		取組開始時期	2018年10月～	取組の カテゴリ	③産業振興
1. 団体名	滋賀SDGs×イノベーションハブ(愛称:しがハブ)	2. 連携先の団体	県内企業、市町、県内大学、県内任意団体、NPO法人、他		
3. 取組目的	滋賀の社会的課題の解決につながるSDGsの理念を踏まえた新ビジネスモデルの創出	4. 関連する ゴール			


5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）	
<p>○イノベーション創出活動 ビジネス化実現に向けた案件のサポート活動を行う。多様な主体をつなぎ、社会的課題を解決するビジネスの価値を高める。創出案件25件。(令和2年6月30日現在)</p>	
<p>○プロジェクト支援事業 SDGsに通じる社会的課題の解決を目指して、新たに取組むプロジェクトに対して必要な経費の一部を助成することにより、SDGsのビジネスモデル創出のきっかけおよび促進を図る。支援件数2件。(令和2年10月末現在)</p>	
<p>○普及啓発事業 ・セミナー等開催 講師を招聘して企業にとってのSDGsの必要性を学ぶ。延べ7回開催（1回はコロナ禍で中止。令和3年1月にも予定） ・各種団体への普及活動 商工会議所、商工会、組合等での研修会を9件開催し、広く啓発活動を行った。(令和2年10月末現在)</p>	
<p>○SDGs宣言のサポート 企業のSDGs取組に向けた意識向上を図り、新しいビジネス創出の土台作りにつなげる。SDGs宣言数82件。(令和2年10月15日現在) ※SDGs宣言とは・・・企業等の団体がSDGに取り組むことを公表すること。</p>	
<p>○表彰 しがハブの活動ならびに滋賀県内におけるSDGsの取り組み事例を表彰し結果を周知することで、SDGsの取組に対する県民や県内企業の理解浸透を図るとともに、SDGsの普及と社会的課題解決につながるビジネス創出の促進を目的として実施する。(令和3年2月開催予定)</p>	

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

- ・産官金の連携で作られた組織。
- ・地域の課題解決に結びつく取組。
- ・持続可能な地域社会の実現に向けた取組を支援。
- ・地域経済の好循環に結びつくことを想定して取り組んでいる。

ステークホルダーとの連携



モデル性・波及性

- ・滋賀県内の企業が、自社の強みを生かしながら、SDGsに通じる滋賀の社会課題解決にもつなげるビジネス創出に取り組み、「SDGsビジネスモデル」となることで先駆性がある。